

4. むすびにかえて

夫の家事や育児遂行は、妻が就業かどうか、親と同居しているかどうかといった社会経済的要因、環境制約要因と同時に、妻の性別役割分業観が大きな影響を持つことが改めて確認された。また、夫の家庭役割、とくに育児遂行については追加出生意識に何らかの影響を与えるという結果を得た。このことは、少子化の問題を男性の家庭役割の視点から考える上で意義のある結果であったといえる。すでに、予備的考察の(1)でも述べたが、今回の結果から以下の点について再認識することになった。すなわち、妻の就業、親との同居、夫の家庭役割は追加出生を考える上で有力な要因となっている。これらは育児支援の必要性を意味しているが、家族で全てをサポートするには限界があり、出産、子育ての「社会化」整備の重要性を示唆している。また、真に男女共同参画社会を構築するためにも、男性の家事や育児参加を促しうるような社会のシステム、当然そこには女性ばかりではなく男性を含めて働き方、生活の仕方を、たとえば家事や育児に関しても積極的な意味を付与するような、システムに変革していくことこそが肝要であろう。同時に男性が家庭役割を遂行できるような、雇用慣行をはじめとする各方面の制度改革や社会全体の意識改革などを進めることが急務である。

参考文献

- 阿藤誠,1997,「日本の超少産化現象と価値観変動仮説」『人口問題研究』Vol.53No.1,pp3-20
- Coltrane, S. and Ishi.Kuntz, M., 1987, 'Men's Housework: A Life Course Perspective', " Journal of Marriage and the Family", 54, pp.737-750.
- Davis, K., 1984, 'Wives and Work: Consequences of the Sex Role Revolution', " Population and Development Review", 10, pp.397-417.
- 江原由美子,1999,「ジェンダー意識の変容」阿藤誠編『家族政策および労働政策が出生率および人口に及ぼす影響に関する研究』（厚生省科学研究費平成10年度総合報告書）
- Ferree, M.M., 1991, 'The Gender Division of Labor in Two-Earner Marriages: Dimensions of Variability and Change', " Journal of Family Issues", 12-2, pp.158-180.
- Ishi, Kuntz, M. and Coltrane, S., 1992, 'Remarriage, Stepparenting, and Household Labor', " Journal of Family Issues", 13-2, pp.215-233.
- Ishi.Kuntz, M. and Coltrane, S.,1992, 'Predicting the Sharing of Household Labor , Are Parenting and Housework Distinct', " Sociological Perspective", 35-4, pp.629-647.
- 岩井紀子,1997,「夫の家事分担に関する日米比較研究-NSFH と神戸調査」石原邦雄編『公共利用マイクロデータの活用による家族構造の国際比較研究』平成8年度文部省科学研究費研究成果報告書.
- 岩間暁子,1997,「性別役割分業と女性の家事分担不公平感」『家族社会学研究』9.

- 岩間暁子,1999,「ジェンダーシステムと育児コスト」阿藤誠編『家族政策および労働政策が出生率および人口に及ぼす影響に関する研究』（厚生省科学研究費平成10年度総合報告書）
- 人口問題審議会,1997,『少子化に関する基本的考え方について』
- 釜野さおり,1999,「女性の結婚意欲と出産意欲」阿藤誠編『家族政策および労働政策が出生率および人口に及ぼす影響に関する研究』（厚生省科学研究費平成10年度総合報告書）
- Kamo, Yoshinori., 1988,'Determinants of Household Division of Labor: Resources, Power, and Ideology'," Journal of Family Issues", 9-2, pp.177-200.
- Kamo, Yoshinori, 1994,'Division of Household Work in the United States and Japan'," Journal of Family Issues", 15-3, pp.348-378.
- Kamo, Yoshinori., 1991,'A Nonlinear Effect of the Number of Children on the Division of the Household Labor'," Sociological Perspective", 34-2, pp.205-218.
- 厚生省人口問題研究所、1995、『1993(平成5)年 第1回全国家庭動向調査—現代の日本の家族に関する意識と実態—』
- Maret, Erizabeth and Barbara, Finlay., 1984,' The Distribution of Household Labor among Women in Dual-Earner Families'," Journal of Marriage and the Family", 46, pp.357-364.
- 目黒依子,1999,「少子化現象のジェンダー論」阿藤誠編『家族政策および労働政策が出生率および人口に及ぼす影響に関する研究』（厚生省科学研究費平成10年度総合報告書）
- Nishioka, Hachiro,1997a,"El problem de la baja fecundidad en los paises desarrollados-Estatus de las mujeres japonesas desde la perspectiva de genero-",Universitat Automoma de Barcelona.
- 西岡八郎,1997b,「家族機能の変化-担い手の実態とその変化」阿藤・兼清編『人口変動と家族』大明堂
- 西岡八郎、1997c、「日本の少子化と家族」『人口と開発』No.61, アジア人口開発協会, pp.17-26.
- Nishioka, Hachiro, 1998a, "Husband's Housework and Reproductive Behavior: Case of Japan-(Version1.0)", Proceeding at the Conference on "Men, Family Formation and Reproduction" of the IUSSP.
- Nishioka, Hachiro, 1998b, 'Men's Domestic Role and the Gender System-Determinants of Husband's Household Labor in Japan-', 『人口問題研究』 54-3
- 西岡八郎,1999,「男性の家庭内役割とジェンダーシステム」阿藤誠編『家族政策および労働政策が出生率および人口に及ぼす影響に関する研究』（厚生省科学研究費平成10年度総合報告書）
- 西岡八郎・小山泰代,2000,「少子化現象のジェンダー分析—男性の家庭役割への関わりから」高橋重郷編『少子化に関する家族・労働政策の影響と少子化の見通しに関する研究』（厚生省科学研究政策科学推進研究事業平成11年度報告書）
- 大沢真知子,1993,『経済変化と女子労働』東京大学出版会.
- Presser, Harriet.B., 1994,'Employment Schedules among Dual-Earner Spouses and the Division of Household Labor by Gender',"American Sociological Review", 59, pp.348-364.
- Roxroat, Cynthia and Constance Shehan., 1987,'The Family Life Cycle and Spouses' Time in

Housework', "Journal of Marriage and the Family", 49, pp.737-750.

生命保険文化センター, 1991, 『女性の生活意識に関する調査』

生命保険文化センター, 1995, 『夫婦の生活意識に関する調査-夫婦の相互理解を求めて』

Shelton, B.A. and John, D., 1996, 'The Division of Household Labor', "Annual Review of Sociology", 22, pp.299-322.

品田知美, 1996, 「既婚女性の家事時間配分とライフスタイル」 『家族社会学研究』 8.

Thompson, Linda and Alexis J. Walker., 1989, 'Gender in Families: Women and Men in Marriage, Work, and Parenthood', "Journal of Marriage and the Family", 51, pp.845-871.

Tstuya, Noriko, 1996, "Family Life and Employment in Japan, Korea, and the U.S.", Paper presented at the Nihon University International Symposium on Contemporary Family in Comparative Perspective.